



# 世界の被災地で支援



菅波代表(左)は、ていねいに取材にこたえてくれました

## AMDAグループ代表菅波茂さん

【岡山市・芳田小6年、齊藤俊介】

私はAMDAのグループ代表の菅波茂さんの取材をした。

菅波代表はもともととは弁護士になるのが夢だったが、ノーベル平和賞を受賞した医師のシュバイツァーにここが、岡山大学に入り医師になったそう。

安心感をもたらすから、具体的な数字を出しているという。AMDAがこれまで東北に送った人は150人になったそう。

そして現在も、世界中の被災地で「救える命があればどこまでも」をスローガンに支援活動を行っているAMDAの人たちがいる。

AMDAは何か災害がおきた時に医師などを被災地へ送り、医療・生活・食料支援をする。東日本大震災での被災地支援は、少なくとも3年間は行っそうだ。被災者に、すぐに帰らないという

AMDAには、どういう人が入るかを聞くとう、菅波代表は「やる気さえあればだれでも入れる」と教えてくれた。私はこの取材のいけいけんを、これからの人生に役立てていきたいと思う。